

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0390600112		
法人名	医療法人社団 敬和会		
事業所名	グループホームあおやぎ		
所在地	岩手県北上市青柳町二丁目6-9		
自己評価作成日	平成27年9月1日	評価結果市町村受理日	平成28年1月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai.gokensaku.jp/03/index.php?act=on_kouhyou_detail_2014_022_ki_hon=true&amp;Ji_gyosyoCd=0390600112-00&amp;Pr_efCd=03&amp;Ver_si_onCd=022">http://www.kai.gokensaku.jp/03/index.php?act=on_kouhyou_detail_2014_022_ki_hon=true&amp;Ji_gyosyoCd=0390600112-00&amp;Pr_efCd=03&amp;Ver_si_onCd=022</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益財団法人いきいき岩手支援財団
所在地	岩手県盛岡市本町通3丁目19-1 岩手県福祉総合相談センター内
訪問調査日	平成27年9月18日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様やご家族様の意向を尊重し、思いを汲み取りながらサービスを提供できるようにしています。面会時には積極的にご家族様へ普段の様子を伝えており、信頼関係を築くと共に安心してご利用いただけるように努めています。利用者様ひとりひとりに「チャレンジシート」を作成し、ご本人の希望やご家族様の希望を入れ、実現に向けて個別ケアに取り組んでいます。訪問看護や、かかりつけ医と連携をとり、体調不良や重度化にも対応できるようにしています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1. JR北上駅に近く、市街地の中心部に立地し、近隣には民家が多く地域と一体化した環境にある。  
2. 同一法人の運営する「介護老人保健施設」、「訪問看護」、「訪問介護」施設等の協力体制に恵まれている。  
3. 自治会に加入し、地域住民との交流が図られ、地区民や老人クラブ会員を対象に「認知症」の理解を深める啓蒙活動が継続的に行われている。  
4. 個人ケアを達成するための目標「チャレンジリスト」を3ヶ月毎に定めて、ケアの向上に努めている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員の目に触れるように、玄関に理念を掲げている。利用者様が生き生きと生活できるような支援を心がけ、スタッフミーティングや日々の業務の中で、職員同士が声をかけ合いながらサービスを提供している。	開設当初に職員皆で策定した理念「家庭、家族のように生き生きと生きるための支援」を定め玄関に掲示している。利用者家族がどんなサービスを望んでいるのかを把握しようと「チャレンジリスト」が職員提案で行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民を招いて芋の子会をしたり、慰問に来ていただいたり、避難訓練にも住民に参加していただくなど交流の機会を持っている。自治会に入り、自治会の総会や地域の行事にも、職員や利用者様が参加している。	自治会に加入し、地域のお祭り、清掃活動、総会に積極的に参加している。認知症の理解を深めてもらうため区民や老人クラブ会員などへの啓蒙活動が継続的に行われている。駐車場では地域の婦人の協力を得ながら「芋の子会」を実施、地区のお祭りの時は子ども神輿の来訪もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や徘徊模擬訓練への参加を通し、認知症の方への理解や支援方法について、地域住民と話し合っている。慰問に来ていただいたり、地域の行事に利用者様と参加する時も、認知症について語り合う機会になっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月ごとに運営推進会議を行っている。事業所報告しながら、運営推進委員の方々から意見をいただき、サービスに活かすようにしている。	運営推進会議では利用者も絵活動や事業所の活動報告、利用者へのケアの状況などを報告している。事業所内での利用者の生活の様子の説明のあと、それぞれの委員から質問や貴重な提言がなされる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に包括支援センターに参加してもらい、事業所の実情を理解していただいている。その他、市や包括支援センター、地域住民と徘徊模擬訓練に取り組み、協力関係を築くように取り組んでいる。	昨年の秋に、道路使用許可をとり、路上で「徘徊模擬訓練」を行った時には、市の担当課の参加があった。事故報告や介護計画更新時などで担当課とは情報交換している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	居室や玄関にセンサーを設置し、利用者様の動きを制限しないように配慮しながら、安全に過ごしていただけるよう見守りしている。外に出たいと希望がある時は、可能な限り一緒に出かけて支援している。	日々の業務の中で、安全確保も大事であるが利用者の動きを制限しないように配慮し見守りケアしている。転倒防止のため家族の了解を得て、居室にセンサーを設置している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、日々の支援の中でお互いのケアを確認したり、言動が気になる時は声をかけるなどして、虐待が行われることのないように気を付けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用している利用者様が2名いる。職員への成年後見制度の勉強会は行なっていないが、必要な場合は管理者から家族へ情報提供するようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、出来るだけ分かりやすい言葉で説明するように心がけている。利用開始や改定にあたり、ご家族や利用者様に不安や疑問がある際は、丁寧に聞いて共感し、安心していただけるように説明をしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様からは日々のケアの中から、ご家族様は面会時に意見や要望を伺うようにしている。いただいた意見や要望は職員で話し合い、運営に取り入れるようにしている。	利用者からは日常ケアの中から、家族からは面会時や事業所の行事の時などに意見・要望を聴取している。日常支援にすることがほとんどである。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週水曜日に行なうカンファレンスや、月1回の職員会議で職員から意見や提案を出し合っている。その他、日々の業務の中で、職員から管理者へ意見をあげて検討し、業務に反映させている。	職員会議（毎月月末に開催）や、毎週水曜日に開催しているカンファレンスの際に職員からの意見要望を聴取している。職員からの意見要望は管理者に、現場で解決できない問題は法人本部へ要望していくシステムが出来ている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	随時ではあるが、管理者が職員と面談する時間を設けている。管理者は、法人の本部へ職員の努力や実績を報告している。職員が向上心を持って働けるよう、外部研修に参加させている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修や法人内研修に、職員が参加する機会を設けている。学んだ内容は、事業所内で勉強会を開いて伝達している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内や姉妹法人のグループホームで集まり、定期的に会議や交流会をしている。県内のグループホーム協会に加入しており、総会や定例会、研修、交流会に管理者や職員が参加している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回の面談時には、事業所からの話よりも、ご本人やご家族様が話しやすいように雰囲気大切にしている。利用が開始してからも、本人や家族が緊張しないで話せるように室内のセッティングや話題にも配慮しながら、関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回の面談時に、ご家族様が困っていることや不安に思っていることに耳を傾け、共感し受け止めて関係作りに努めている。利用初期の面会時にも、入居されてからの様子を伝えながら、ご家族様の心配や不安、要望を傾聴し、誠意を持って対応するようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回面談時に、ご本人とご家族様が何で困っていて、どのようになると安心して過ごせるのか会話の中から模索し、グループホーム以外のサービスも説明しながら、ご本人やご家族様が必要としているサービスを一緒に検討するようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が分からない生活の知恵や方法など、職員から利用者様に相談して教えていただき、家事やプランターの野菜の手入れなどを一緒に行なっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の理解と協力をいただきながら、利用者様の記念日に一緒に過ごしていただいたり、利用者様の希望を実現させるため、自宅への一時帰宅も実現させている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居してからも、ご本人と親しい人との繋がりを大切にしている。思い出の場所へ一緒に出かけている。	特養ホームに入所している妻への面会に出かけたり、一時帰宅も兼ねて、自宅へ馴染みの洋服を取りに行ったりしている。「みちのく芸能祭り」では、法人職員のパレード参加があり、希望者は見学に行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒に生活している中で、利用者様同士の会話や活動の様子を見ながら、トラブルや孤立にならないように職員が間に入って配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や退去して契約が終了した後も、いつでも相談していただけるように、終了時にご本人やご家族様に話すようにしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、会話や表情、行動から、利用者様ひとりひとりの思いをくみ取るように努めている。言葉で自分の意向を伝えられない利用者様は、観察の中から得た情報をもとに本人本位で意向を検討したり、ご家族様から情報を得るようにしている。	介護職員は利用者ごとの担当制としており、日常支援の中から気づきや情報を記録し、全職員が情報を共有するシステムが出来ている。誕生日の希望食やプランターでの野菜栽培など思いが叶えられている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の様子を、ご本人、ご家族様、担当していたケアマネや入所施設から情報をいただき、把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りやケース記録などで、職員間で情報共有し、ひとりひとりの体調の変化や心身の状況、できる動作や活動などを把握するようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	週1回カンファレンスを行ない、ご本人の希望や心身の状態に合わせた介護計画を作成している。	6ヶ月に1回は見直しを(変化が有るときはその都度)行っている。家族からは面会時、利用者からは日常の支援をしている中で要望を把握し、介護計画に反映させている。例として嚥下がうまくできない利用者のためミキサー食にしたら食べなくなったので、形を崩さずやわらかく調理し提供したところ、食が進むようになった等がある。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や個人の気づきの記録などを活用し、職員間で情報共有しながら、支援の仕方や介護記録の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	かかりつけ医の受診や馴染みの床屋の利用の際に、ご本人やご家族様の状況に合わせて送迎や付き添いをしている。ご家族様と外食に出かける際には、楽しく安全に食事できるよう、食事介助に必要な物品の準備とアドバイスをこなしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	認知症を理解していただきながら、地域住民にお茶の慰問に来ていただいている。馴染みの床屋にも、認知症を理解していただきながら利用を継続させていただいている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族様の希望を聞きながら、訪問診療やかかりつけ医への受診を行なっている。体調不良時など、ご家族様に報告と相談を行なって適切な医療を受けられるように支援している。	同系列の医療法人の医師による訪問診療や訪問看護の体制が出来ている。その結果を随時家族へ報告し安心してもらうようにしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護と医療連携の契約をしており、健康相談や体調不良時の相談を行ない、利用者様が必要な受診や医療を受けられるように支援している。併設の小規模多機能の看護とも、相談できる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際、早めに在宅情報を提供している。入院中も、ご家族様や病院と情報共有するように努めており、退院の打診が来た時は、利用者様の環境ダメージを考慮して早めに受け入れできるようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、早めにご家族様の意向を確認し、かかりつけ医と話し合っている。事業所でできることとできないことを充分説明し、ご本人とご家族様が希望した場合は看取りも行なっている。	昨年(H26)の6月に看取りを経験している。訪問診療、訪問看護を受けられる体制が出来ていることと、職員の理解がなされている。契約時に、家族へは、医師・事業所職員が説明をしている。3名の方が看取りを希望し、契約している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故の対応を実際に行なった職員を中心に、その時の状況や取った対応方法を職員で情報共有し、それぞれ職員が初期対応をイメージできるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	2～3ヶ月ごとに避難訓練を実施しており、年1回は消防署・地域住民の方にも協力をいただき、火災訓練を実施している。地域の方には避難後の見守り役をお願いしている。今年は、夜間想定訓練を実施する予定。	併設の施設との合同避難訓練は年1回実施している。グループホーム単独の訓練は、年4回行われている。地域住民(5～6名)の協力(避難した利用者の見守り)を得て、実施している。地域の方から消防署への通報訓練も実施している。今年は夜間想定訓練を計画中である。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室への訪問は、必ずノックしてから入室するようにしている。トイレ誘導時も、周りの方にトイレに行くとはっきりと分らないように配慮して声をかけている。また、入浴は個別対応している。	トイレ誘導は、周りの人に気づかれないように誘導している。入浴は一人ひとりの入浴(希望)時間帯で実施し、また異性(特に男性介護人の女性への介護)による入浴介護についても本人了承のもと行っている。居室への訪問も必ずノックし返事を待ってから入っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	居室で過ごしたい方、談話室でテレビを見て過ごしたい方、活動に参加したい方など、ご本人に意向を確認して自由に過ごせるように配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとりひとりのペースを大切に、希望の場所で自由に過ごしていただいている。また、個別ケアに力を入れており、ご本人の意向に沿いながら活動提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居以前から着慣れた衣類を持ってきていただいております。その人らしさを大切に、おしゃれができるようにしている。また、準備と声かけにて可能な限り、自分で身だしなみを整えられるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できる方には野菜の皮むきをしていただいたり、テーブル拭きをお願いするなど、食事の準備と一緒にこなしている。食事の後は、食器の片付けも一緒にこなしている。	静かに食事に専念している状況であった。食事前のテーブル拭き、ランチョンマットを敷く、食後は食器の後片付け、食材の皮むきなど出来る範囲で手伝っている。献立は職員が立てており、必要に応じて法人の管理栄養士に見てもらい、アドバイスをもらうこともある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事時の様子や食事を観察して記録し、職員間で情報共有している。食事量が少なくなった時は、好みの食材や食形態、食器や盛り付け方など検討し工夫している。水分補給は、意識的に行なっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合わせて、歯ブラシや口腔ケアスポンジを準備している。できるところまで自分で口腔ケアをしていただき、部分的に介助するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を活用し、それぞれの排泄パターンを把握してトイレ誘導している。夜間も、ほとんどオムツに頼らず、リハビリパンツを使用してトイレ誘導し、トイレで排泄できるように支援している。	排泄表を活用してのトイレ誘導となっている。排泄パターンを把握し、さりげない上手なトイレ誘導により失敗する回数を減らし、羞恥心からの解放、自信を持てるように配慮している。その結果、オムツからリハビリパンツに、改善された事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方も多く、医師や看護と連携をとり、内服薬にて排便コントロールしている。腸を動かす体操を、活動の中に取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人に意向を確認してから、入浴の支援を行っている。浴槽からあがるタイミングも希望に合わせており、その他、浴室に季節の花のポスターを飾ったり、音楽をかけたり、視覚や聴覚でも入浴を楽しめるようにしている。	週4日(月・火・木・金)の午前中が入浴日となっている。浴室には季節の花のポスターを飾ったり、ラジカセで音楽を流すなど癒しの入浴となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体力低下のある方は、日中に休息できるようにしている。夜間寝つきが悪い方は、眠くなるまで話相手をしたり、温度や明るさを調節して眠りやすくするように、環境にも配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更時には、変更理由や観察ポイントなど、職員全員でしっかり情報共有している。また、誤薬事故を防ぐために、服薬介助前には必ず職員2人で薬と名前を確認するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除や洗濯など、家事作業をできる方には日課として作業していただいている。その他、好みの曲を流したり、一緒に踊ったり、利用者様の生活歴に沿った余暇活動を提供している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や体調を確認しながら、希望に沿って外出の機会を作っている。散歩をしたい、たまには家に帰りたいなどの要望も、ご家族様や地域住民の理解と協力をいただいて実現している。	利用者の自宅を甥や姪が見に連れていく方が3名程いる。帰宅願望の強い方もいるが、帰宅願望(不穏)が解消されるようにと努力している。事業所内に閉じこもらない生活を支援するため、事業所周辺の散歩、その他外出の支援をできる範囲で行っている。	すべての居室が2階で普段窓越しでしか外の風景など見れない状況にあることから、できるだけ事業所の外に出て、外気を吸い、往来の人、通学する子供たちの姿などを見ることや、会話をしたりすることなどの場面を期待したい。



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様と相談し、自分で管理できる方にはしていただいている。ご本人の能力や希望に応じて、一緒に買い物に出かけたり、支払いできる方にはしていただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	週1回のペースで、遠方のご家族様と携帯電話で連絡を取り合っている方もいる。携帯を充電したり、取次ぎの支援をしている。それ以外にも、希望があれば施設の電話を使用できる環境にしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔感を保てるように環境整備し、季節の花や草木をホールに飾り、居室に置ける方は、居室に飾っている。季節に合せた食事の提供や行事も、欠かさずに行なっている。	トイレの入り口部分の壁紙はトイレであることに気づかないくらいの装飾であり、トイレの中も同様である。各居室前は自分好みの写真や得意な習字が貼られている。食道・居間にはソファが数カ所あり、利用者が思い思いのところで安らげる環境である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール数箇所にソファを設置し、気の合う利用者様同士、好きな場所でリラックスして過ごせる環境にしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ご自宅で使用されていた家具や飾りを持ってきて置いていただいている。衣類なども、自宅で着慣れた衣類を持ってきていただくように、ご家族様に説明している。	ベッド、タンス、エアコンは事業所の備え付けであるほかは、利用者が馴染みのもの(机、洋服掛け)を持ち込んだり、家族の写真を飾るなど居心地良く過ごせる居室である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室には手すりを設置している。椅子の高さをひとりひとりに合わせて調節し、立ち上がりや歩行時の安全に努めている。		